

研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

<p>1. 課題名</p> <p>外来医療用麻薬処方の実態調査：横断研究</p>
<p>2. 研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 病院薬剤学講座 助教 日向 美羽</p>
<p>3. 研究の概要・計画</p> <p>研究背景：病院-調剤薬局間では、処方せんとお薬手帳での、情報共有が主であり、十分な患者情報の共有されておらず、医師、看護師、病院薬剤師、調剤薬局薬剤師は外来患者のペインコントロールや副作用等を把握することが難しいことがあります。本研究では、医療用麻薬鎮痛剤の処方を受けている患者数、処方日数、薬剤の用量変更及び処方変更、副作用対策の現状を調査し問題点を検討いたします。</p> <p>調査対象期間： 2015 年 1月1 日～2015 年3月31日</p> <p>調査対象情報：昭和大学横浜市北部病院の外来で、がん性疼痛管理目的で医療用麻薬の処方を受けている患者データ</p> <p>調査項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の医療用麻薬の患者数、患者基本情報（性別、年齢、身長、体重）、診療科、保険病名、処方件数、処方日数、臨床検査データ（Cr, e-GFR, Alb,AST,ALT）、重症度 処方薬剤、処方用量 ・外来で医療用麻薬の初回導入をした患者数 ・外来で医療用麻薬の処方変更（スイッチング）を行った患者数とその理由 ・外来で医療用麻薬の屯用薬（レスキュー）のみ取りに来た患者数とその理由 ・吐き気止め、緩下剤が併用されている患者数、使用薬剤
<p>4. 研究実施期間</p> <p>2016年9月1日～2018年3月31日</p>
<p>5. 問い合わせ先</p> <p>昭和大学薬学部病院薬剤学講座 助教 日向 美羽</p> <p>住所：〒224-0032 神奈川県横浜市 都筑区茅ヶ崎中央35-1</p> <p>電話番号：045-949-7000</p>